



平成 年 月 日

原動機仕様 (太陽光)

発電設備設置者名

PCS番号

( 既設 ・ 新設 ・ 増設 )

1. モジュール

(1) メーカー・型式	【メカ】	【型式】
(2) 種別	単結晶シリコン ・ 多結晶シリコン ・ アモルファス ・ その他	
(3) 寸法	× [mm]	
(4) 変換効率	[%]	

2. システム

(1) 構成	( 直列× 並列) × アレイ
(2) 最大出力 Pmax	[W]
(3) 設置角度	[° ]
(4) 設置方位 <sup>※1</sup>	真南から東へ [° ]
(5) 設置面積	[m <sup>2</sup> ]

※1：西向きは－として記入ください。

【留意事項】

- 異なる仕様のシステムがある場合は、本様式を複写し、仕様毎に記入してください。
- 追尾式の場合はその制御に関する説明資料を添付ください。(様式自由)
- 出力予測の確認などで、さらに詳細な資料を確認させていただく場合があります。

平成 年 月 日

## 周波数変動対策設備仕様

発電設備設置者名

PCS番号

( 既設 ・ 新設 ・ 増設 )

## 1. 蓄電池

(1) 種類				
(2) 定格入出力			[kW]	
(3) 蓄電池容量			[kWh]	
(4) モジュール電池容量	[kWh/モジュール]			
(5) 蓄電池の構成	直列接続数 :	列	並列接続数 :	列
(6) 充放電効率	充電時	[%]	放電時	[%]

## 2. その他

--

## 3. 電力系統からの蓄電池充電防止のための計量箇所

(1) 個所数	3 箇所 ・ 2 箇所
---------	-------------

## 【留意事項】

- 蓄電池以外の設備により周波数変動対策を講じる場合には、「2. その他」に仕様を記入して下さい。
- 異なる仕様の発電機がある場合は、本様式を複写し、仕様毎に記入して下さい。
- 系統安定度の検討などで、さらに詳細な資料を確認させていただく場合があります。

平成 年 月 日

## アクセス送電線 (1/3)

発電設備設置者名

## 1. 全般

(1) 希望連系点	kV	線	号 No.	鉄塔 /	発・変電所	kV母線
(2) 区間 <sup>※1</sup>	(自)			～ (至)		
(3) こう長 <sup>※2</sup>						[km]

## 3. 架空線区間の設計

(1) 区間	(自)			～ (至)		
(2) こう長 <sup>※2</sup>						[km]
(3) 支持物	鉄塔 ・ その他 ( )					
(4) がいし						
(a) 種類 <sup>※3</sup>	(JIS規格)			(品番 <sup>※4</sup> )		
(b) サイズ <sup>※5</sup>						
(c) 1連の個数						
(d) 耐電圧	注水		[kV]	雷インパルス		[kV]
(e) 引張破壊荷重						[kN]
(f) 設計表面漏れ距離						[mm]
(5) 電線						
(a) 種類						
(b) サイズ <sup>※6</sup>			mm ×	条		
(c) 引張荷重						[kN]
(d) 防食仕様の有無	有 ・ 無					
(6) 架空地線						
(a) 架空地線の有無	有 ・ 無					
(b) サイズ <sup>※6</sup>			mm ×	条		
(c) 引張荷重						[kN]
(d) 防食仕様の有無 <sup>※7</sup>	有 ・ 無					

※1： (至) は上記 (1) に記載の当社電気工作物となります。

※2： こう長は小数点以下第1位まで記載してください。

※3： がいし種類は、「長幹がいし」「懸垂がいし」「LPがいし」等を記載するとともに、「普通ひだ」「下ひだ」「深ひだ」などが分かるように記載してください。

※4： 品番については、メーカーの要覧で確認してください。

※5： LPがいし (クランプトップ型) はメーカーによりサイズが異なる場合があるため、メーカーの要覧により確認してください。

※6： 条数は1相当りの条数を記載してください。

※7： 地線の防食有無については、基本的に電線の防食有無に合わせてください。

## 【留意事項】

- アクセス送電線 (発電設備側) の経過図 (縮尺は任意) を添付してください。
- 確認のため、さらに詳細な資料を確認させていただく場合があります。

平成 年 月 日

## アクセス送電線 (2/3)

発電設備設置者名

## 4. 地中線区間の設計

(1) 区間	(自)	～	(至)
(2) こう長 <sup>※8</sup>			[km]
(3) 敷設方式			
(a) 管路式			
種類	PFP <sup>※9</sup> ・ その他 ( )		
内径			[mm]
条数 <sup>※10</sup>			[本]
(b) 直埋式			
防護方法			
(c) その他			
(4) ケーブル			
(a) 種類	CV ・ CVT ・ その他 ( )		
(b) 遮水層	有 ・ 無		
(c) サイズ			[mm <sup>2</sup> ]
(5) 終端接続箱	(自) に設置する接続箱	(至) に設置する接続箱	
(a) 想定最大塩分付着密度	[mg/cm <sup>2</sup> ]	[mg/cm <sup>2</sup> ]	
(b) 種類	気中 ・ ガス中 ・ 油中	気中 ・ ガス中 ・ 油中	
(c) がい管			
種類			
型式			
(d) 設置位置	地上 (架台) ・ 鉄塔上	地上 (架台) ・ 鉄塔上	
(e) 耐塩対策 <sup>※11</sup>	絶縁強化 ・ 洗浄 ・ えんぺい	絶縁強化 ・ 洗浄 ・ えんぺい	

※8： こう長は小数点以下第1位まで記載してください。

※9： 強化プラスチック複合管

※10： 条数は1相当当たりの条数を記載してください。

※11： 耐塩対策は、66kVにおいては、想定最大塩分付着密度0.12mg/cm<sup>2</sup>を超過した場合、33kV、154kVにおいては、0.06 mg/cm<sup>2</sup>を超過した場合、選択してください。

## 【留意事項】

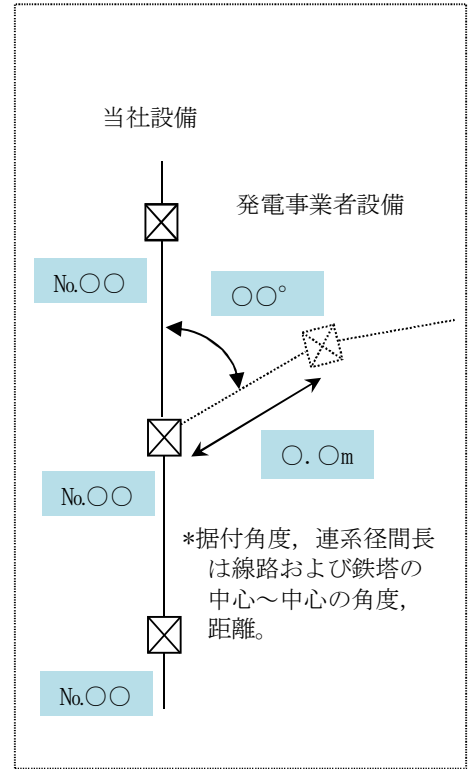
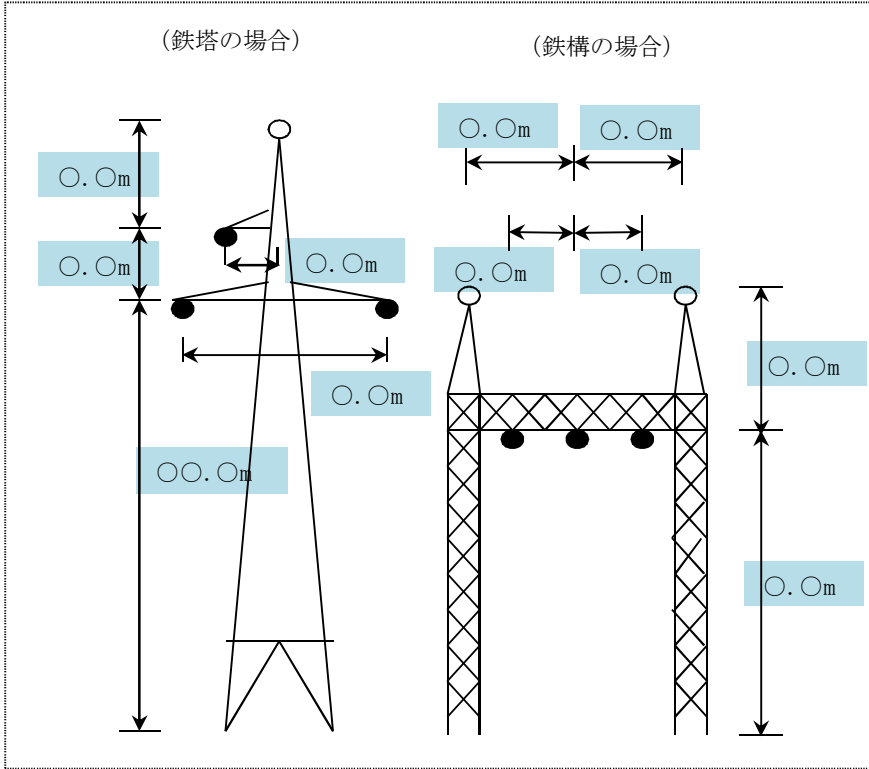
- 地中線のルート図 (縮尺は任意) を添付してください。
- 確認のため、さらに詳細な資料を確認させていただく場合があります。

アクセス送電線 (3 / 3)

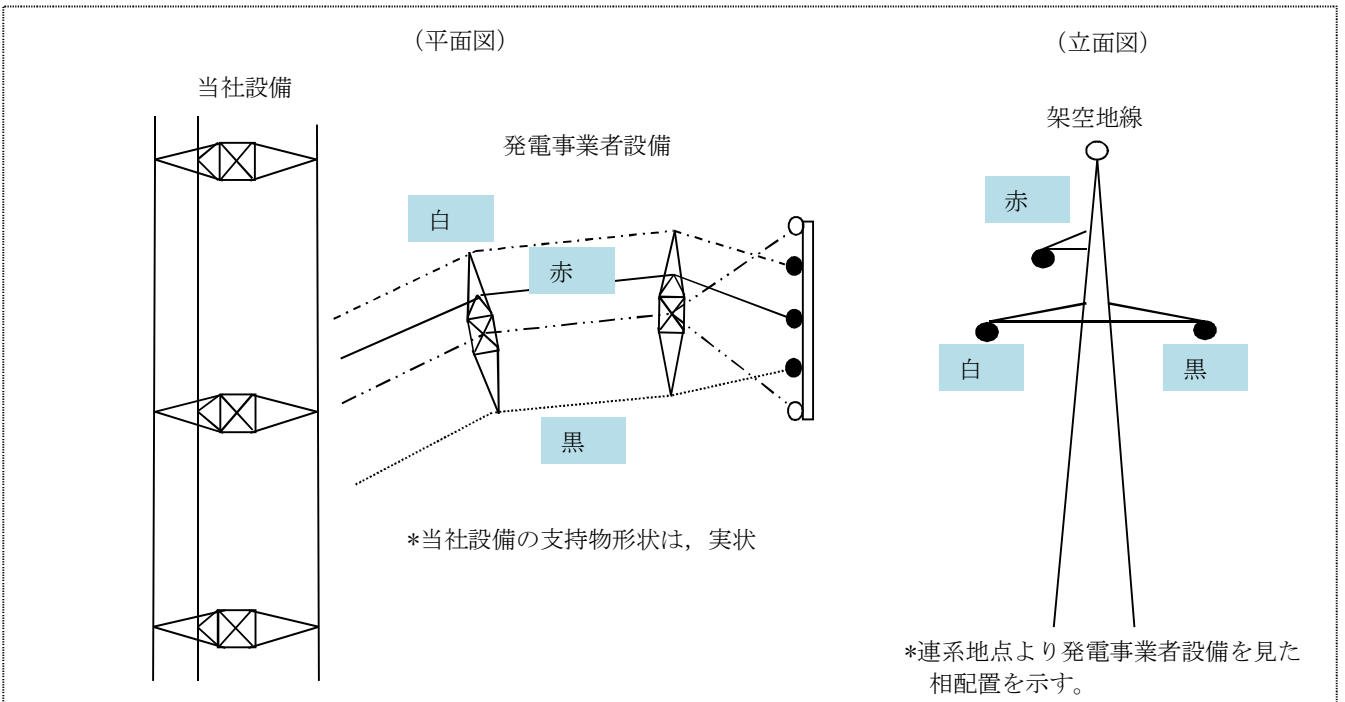
発電設備設置者名

発電事業者アクセス送電線の最終支持物(鉄構)装柱図

据付角度(鉄塔の例)



発電事業者アクセス送電線の位相図 (鉄塔の例)



【留意事項】

○ 網がけ個所 [ ] は連系する当社支持物の建替・改造検討等において必要な項目のため, 記載もれのないようお願いします。

平成 年 月 日

## 自営通信回線

発電設備設置者名

## 1. 通信回線の設計

(1) 用途	保安電話 ・ 情報伝送装置	
(2) 接続箇所 <sup>※1</sup>		
(3) ケーブル種類	メタル通信ケーブル ・ 光ファイバーケーブル ・ OPGW	
(4) メタル通信ケーブル		
(a) 心線太さ		[mm <sup>2</sup> ]
(b) 対数		[対]
(c) こう長		[m]
(5) 光ファイバーケーブル		
(a) 種類	SM ・ GI (1.3 μm ・ 1.5 μm)	
(b) 心線数		[心]
(c) こう長		[m]
(6) OPGW		
(a) 種類	SM ・ GI (1.3 μm ・ 1.5 μm)	
(b) 心線数		[心]
(c) こう長		[m]
(7) 搬送端局装置種類	ケーブル搬送装置 (	CH)
	光搬送装置 (	Mbps, CH)
	電力線搬送端局装置 (	CH)

※1： 接続を希望される当社事業所を，技術センター・系統給電指令所・営業所・発電所・変電所等の中から具体的に  
ご指定願います。ただし，ご指定のない場合，もしくはご指定いただいた当社事業所での合理的な連系が困難な  
場合は，当社が合理的と判断する当社事業所を連系点として設備設計いたします。

## 【留意事項】

- 保安電話用回線と情報伝送装置用回線が別ルートおよび設置個所が違う場合，保安電話用回線と  
情報伝送装置用回線用2枚提出してください。
- 接続予定の当社事業所までの通信ケーブルルート図（縮尺は任意）を添付してください。
- 確認のため，さらに詳細な資料を確認させていただく場合があります。

※用紙の大きさは、日本工業規格A3サイズとしてください。

平成 年 月 日

発電者名 \_\_\_\_\_

変 圧 器 励 磁 特 性

1. 励磁特性 (I-V, I-φ)

V [PU]	I [A・peak]	φ [Wb・ターン]

V: 励磁率 [PU]

I: 励磁電流ピーク値 [A・peak]

φ: 磁束 [Wb・ターン]

※高圧巻線から変圧器を励磁した場合の励磁電流ピーク値を励磁率1.5 [PU]以上まで記載してください。

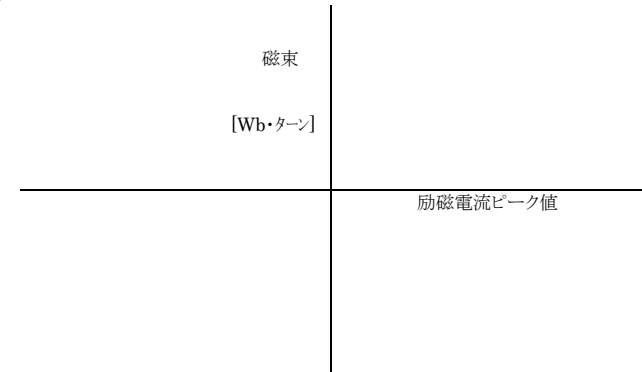
参考

高圧側電圧	Y結線	Δ結線
154kV	400.2	693.2
66kV	171.5	297.1
33kV	85.8	148.6

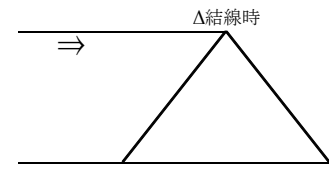
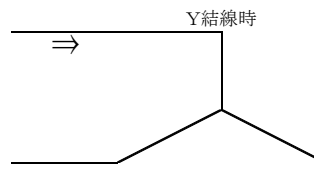
①I-Vグラフ



②I-φグラフ



(注) 電流値は矢印の部分の値を記入ください





※用紙の大きさは、日本工業規格A3またはA4サイズとしてください。

平成 年 月 日

発電設備設置者名

## 風車の位置データ

機番	発電機機種名	定格出力[kw]	ハブ高さGL[m]	経度			緯度		
				[度]	[分]	[秒]	[度]	[分]	[秒]
1号機									
2号機									
3号機									
4号機									
5号機									
6号機									
7号機									
8号機									
9号機									
10号機									
11号機									
12号機									
13号機									
14号機									
15号機									
16号機									
17号機									
18号機									
19号機									
20号機									

※緯度・経度は世界測地系での記載をお願いします。